

## 教育委員会定例会（平成25年8月）会議録

1 日 時	平成25年8月8日（木） 15:00～17:05
2 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3 出 席 者	委員長 伊藤 嘉秀 委員 宮内 文久 長野 美和子 三木 由紀子 教育長 阿部 義澄 事務局長 藤田 佳之 総括次長 木村 和則 次 長 横井 敏行 坂本 睦美 課 長 加藤 京子 横井 邦明 渡辺 環 伊藤 繁次郎
4 教育長の一般報告	教育長の報告 7月分行事報告及び8月分行事予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<選 挙> 選挙第1号 新居浜市教育委員会委員長の選挙について  <指 定> 指定第1号 新居浜市教育委員会委員長職代理者の指定について  <請 願> 請願第1号 公教育の中立性を確保する教育委員会制度の厳守 について  <いじめ、不登校等生徒指導関係について>  <その他> (1) 平成25年度新居浜市教育委員会の事務の管理及び執行状況 の点検・評価について (2) 平成25年度教育委員会取組方針について (3) 別子小学校について

伊藤委員長	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成25年第8回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宮内委員さんと長野委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成25年第7回定例会会議録の承認につきましては、三木委員さんと宮内委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>7月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>12日 平成25年度新居浜市中中学生弁論大会が、新居浜ロータリークラブ及び新居浜南ロータリークラブの支援を受け、第47回目の大会を開催いたしました。各中学校の代表の10名の弁士が自分自身の体験から感じたことや決意を感情豊かに語ってくれました。第1席に西中学校神田真和さんの「あの向日葵を忘れない」、第2席に南中学校守谷幸称さんの『「ケレケレ」助け合って生きている』、第3席に中萩中学校長谷川風花さんの「ありがとう」が選ばれました。様々な弁士の体験が聞く者に多様な感動を与えてくれました。</p> <p>平成25度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が四国中央市で開催されました。</p> <p>14日 身体障害者チャリティー第16回オープントーナメント西日本拳法道選手権大会が、西日本各地の小学生から成人までの選手の参加を得て、山根総合体育館で開催されました。</p> <p>16日～19日 7月末までの教育委員会取組方針の進捗状況の教育長・事務局長ヒアリングが実施されました。後で、報告いたします。</p> <p>18日 第3回日本リトルシニア西日本選手権野球大会に、四国ブロック大会を勝ち抜いて、出場することになった新居浜リトルシニア選手27名と監督・保護者の方々が市長に表敬訪問をされました。10日から愛知県豊田市で開催されます。</p> <p>19日 小中学校の第1学期終業式が行われました。</p> <p>第7回新居浜駅周辺モニュメント設置審査委員会が開催され、シンボルロードモニュメントの第1次審査が行われました。</p> <p>第7回春川オープン国際テコンドー選手権大会2013に出</p>

場した上野知果さんが大会の様子等について市長に報告に来られました。

20日 平成25年度第65回県総体に選手449名、役員監督74名総計523名が参加しました。なお、結果についてはお手元にお配りしておりますので、後ほどご覧ください。

22日 各学校の校長・教頭・教務主任と教育長との懇談会が26日までの期間行われました。

新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会（第4回学習環境委員会）が開催され、Q-U検査結果の見方等について研修を行いました。

2013年度第46回少林寺拳法愛媛県大会において最優秀賞を獲得し、県代表として第7回全国中学生少林寺拳法大会に出場する田中沙耶加新居浜南中学校2年生、第8回四国高等学校少林寺拳法選手権大会規定単独演武女子の部優勝石井美和新居浜商業高等学校2年生、並びに自由単独演武女子の部優勝田中遥新居浜西高等学校2年生が市長に喜びや全国大会への抱負を語ってくれました。

23日 第49回新居浜市小学校水泳記録会が泉川小・新居浜小で開催されました。

惣開、宮西、若宮小学校を皮切りに、通学路安全対策アドバイザーによる専門的な見地からの指導助言のもと、学校、PTA、地域関係者と警察、市や県の道路管理者との通学路の合同点検が8月6日までの間行われました。点検箇所は56箇所となっております。

25日 にはま子ども環境サミットが開催されました。スクールエコ運動認定校の新居浜小・高津小・泉川小学校から、学校の取組について発表があり、その取組について意見交換がなされました。また、総合科学博物館 進悦子学芸員さんのサイエンスワークショップが表面張力の面白さに気づく「アメンボ君を作ろう」「ジャンボシャボン玉ができる」等の科学実験が行われました。

「夏休み子ども探検隊&不思議なおもちゃに挑戦」が別子銅山記念図書館で開催され、子ども25名、大人21名が参加し、普段見られない書庫等を探検したり、新居浜工業高等専門学校の先生たちの指導によるおもちゃ作りを楽しみました。

26日 小中学校の学校給食関係者を対象に、学校給食研修

会がウィメンズプラザで開催され、労働基準監督署の今井知士氏に「労働災害の現状と具体的防止策」について分かりやすくお話をいただきました。

26日～28日 発達障がい支援者のための実践セミナーが、こども発達支援センターで連続3日間の日程で開催されました。発達障がい等の人たちへの療育、教育、福祉に携わっている方15名を対象に、実際に子どもさんに協力を頂きながら、発達障がいへの理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的とした講義と実習からなる実践実技研修会を行いました。研修を通じて、特に自立課題やコミュニケーションについてチームで支援に取り組んでいくことの大切さを学ぶことができました。

27日～28日 新居浜リトルリーグ創立35周年を記念して、県内各地のリトルリーグ加盟のチームが参加しての創立35周年記念大会が開催されました。

28日 平成25年度「新居浜市小・中学生子ども会議」が開催されました。「楽しい学校とは」のテーマで話し合われました。前半は4つのグループに分かれ話し合い、後半は浮島小学校と角野中学校の取組発表を参考に、小・中学校が各中学校区の10のグループで話し合い、その結果を全体発表しました。この場で話し合われた内容について、保護者、教職員、教育委員会等の会合で是非とも話し合いの深まりを探っていきたいものです。

29日 平成25年度「インスパイヤ・ジャパン愛媛」（文部科学省委託国際交流事業）でアルジェリア・セネガル・スーダンから9名のボーイスカウトの団員が1泊2日の新居浜市でのホームステイを行うことになり、市長に表敬訪問が行われました。

30日 県総体の報告会が行われ、主な成績として、見事団体優勝は、バドミントン男子・女子とも中萩中、おしくも準優勝には、軟式野球川東中、ソフトボール女子川東中、バドミントン男子・女子とも川東中、卓球女子泉川中、新体操女子南中、3位で卓球男子泉川中が四国大会に出場します。個人として、体操競技女子、卓球女子単、バドミントン男女単・複、水泳男子自由形、陸上男女に出場することになっています。新居浜市からは106名の選手・監督が8月3・4日の四国大会に出場することになりました。選手の努力とともに、保護者・指導者

等関係者のみなさん方の取組の成果だと思います。ご苦労様でした。感謝申し上げます。四国大会や全国大会を期待したいものです。

口屋跡記念公民館において地域主導型公民館活動の一つとして取り組んでいた「団塊世代のリーダー養成講座」の中から発案され、新居浜の過去の中心市街地の発展の原点は口屋にあるが、その口屋の姿がどんなものであったかは写真でしか残っていない。新居浜のルーツを知るためにも写真からジオラマを作ろうと「口屋あかがねの会」が結成され、今年2月から取り組み始め、このほど完成し、「口屋ジオラマ」の完成の除幕式が執り行われました。

30日～31日 NHK合唱コンクールが開催され、30日の小学校の部では、角野小学校・高津小学校、31日の中学校の部では、西中学校・角野中学校が金賞を受賞し、東予地区の代表として8月6・7日に行われる県大会に出場することになりました。県大会でも活躍することを期待したいと思います。

8月1日 平成25年度新居浜市中学生国際交流事業アメリカ訪問団の第1回事前研修会が開催されました。訪問団の主旨や目的、日程、パスポートの取得等についての説明が行われました。出発までに7回の予定で事前研修を行うことになっています。10月26日から11月5日までの9泊11日間の体験活動となります。

ALTとして3年間活躍してくれたトーマスさんとマークさんの後任として、新規ALTのMr・David Michael Laba (ディビッド マイケル・ラバ)さんとMr・Mykel Jeffrey Schuessler (マイケル ジェフリー シェスラー)さんが着任し、市長を表敬訪問されました。

2日 「夏休み体験 子ども一日図書館員」に19名の小学生が参加し、図書館見学とカウンター体験、本の調べ方講座、図鑑クイズのリーフレット作りを行いました。

3日～4日 中学校四国総体が開催されました。

4日 7月28日に計画されていた第26回市民一斉清掃が雨天のため8月4日に延期されました。教育委員会は黒島海浜公園海岸のごみ拾いを行いました。

あすなろ教室進路相談会が開催されました。

6日 NHK合唱コンクール愛媛県大会小学校の部が開催さ

<p>伊藤委員長</p>	<p>れました。</p> <p>7日 NHK合唱コンクール愛媛県大会中学校の部が開催されました。</p> <p>8日 中学校四国総体報告会が市民文化センターで行われました。成果については、お手元にお配りしています。</p> <p>その他、8月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>9日 中学生アメリカ訪問団第2回事前研修会 夏の夜のちょっとこわいお話し会と夜の図書館探検 (別子銅山記念図書館)</p> <p>10日 心理アセスメント学習会 (ふれあいプラザ)</p> <p>11日 人権のつどい日</p> <p>19日 あすなる教室学習室の開放 (~23日) 第4回小中学校教頭研修会 魅力ある学校づくり調査研究事業合同研修会 (市民文化センター) 学校教育支援員等研修会 (ふれあいプラザ)</p> <p>20日 中学生アメリカ訪問団第3回事前研修会</p> <p>21日 前期発達支援スキルアップ連続講座 (~22日) (別子銅山記念図書館)</p> <p>22日 第2回小中教務主任研修会 (市民文化センター)</p> <p>23日 CAPプログラム研修会 (市民文化センター)</p> <p>24日 第3回笑顔甲子園 (~25日) (銅夢にいほま、市民文化センター)</p> <p>26日 CAPプログラム研修会 Q-U心理検査研修会 (市民文化センター)</p> <p>27日 中学生アメリカ訪問団第4回事前研修会</p> <p>28日 第3回中学校トップアスリート事業 (~29日) (山根総合体育館) 小中学校人権・同和教育講演会 (市民文化センター) いじめ対策総合推進事業講演会 (愛媛県総合科学博物館)</p> <p>31日 パパS絵本プロジェクト マジカル全国ツアー 2013 in 新居浜 (別子銅山記念図書館)</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの教育長さんの一般報告につ</p>
--------------	---

	<p>いて何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p>
宮内委員	<p>8月23日金曜日に行われるいじめ調査編集委員会について、詳しく教えていただけませんか。</p>
阿部教育長	<p>市内の小学2年生から中学3年生まで、6月から7月にかけていじめアンケート調査の悉皆調査を行いました。その内容について、データを分析する会合です。主に各小中学校の生徒指導主事が中心に行っているものです。</p>
宮内委員	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
伊藤委員長	<p>その他にご質問ございませんでしょうか。</p> <p>では続きまして、本日は議案がございませんので、選挙に移らせていただきます。次期教育委員長の選挙及び委員長職務代理者の指定につきましては、人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますがご異議ございませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
伊藤委員長	<p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>続きまして、請願の提出がされていますので、事務局の方から説明をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>先日、教育委員会に請願書が提出されましたので、本日お手元にお配りさせていただきました。請願書及び参考資料をご覧ください。なお、具体的なところにつきましては、事務局長から補足説明させます。</p>
木村総括次長	<p>請願第1号につきまして、補足説明させていただきます。新居浜市教育委員会会議規則第38条に「委員会に対する請願は、全て教育長を通じて委員会に提出しなければならない。」また、第40条に「受理された請願書は、これを会議に付さなければならない。」と規定されております。ただ今提示されております「公教育の中立</p>

	<p>性を確保する教育委員会制度の厳守を求める請願」につきましては、7月30日に教育委員会事務局に持参し提出されたもので、その後事務局において受理することができるか等、様式等の精査を行い、8月の定例教育委員会に提出が決定されたのが昨日8月7日となり、事前に請願書等の送付ができず、本日お渡しすることとなりました。以上説明を終わります。</p>
伊藤委員長	<p>ただ今の請願第1号につきまして、ご意見等ございますでしょうか。少しお時間をいただきます。</p>
阿部教育長	<p>今、委員長さんからも言われたのですが、資料が本日配付され、また内容も多いため、全てに目を通して、そのあと各自が意見を述べるということは時間がかかるのではないかなという思いがあります。そこで、今日はお渡しをしておき、次の定例教育委員会の時にそれぞれ意見を言うという形で、継続審議にしてはいかがなものかと思えます。どうでしょうか。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。提出時期から事前に資料をお渡しすることができなかつたので、ただ今教育長から継続審議の論議がございました。継続審議につきまして、賛成される方、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。全員一致にて継続審議にさせていただきます。よろしくをお願いします。</p> <p>続きまして、いじめ、不登校等生徒指導関係について事務局から説明をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p>
宮内委員	<p>中学校2年生のいじめに関してですが、これは学校側が警察に通報したのですか。それとも、被害者の保護者が警察に通報したのでしょうか。</p>



阿部教育長	被害者の保護者が警察に通報しました。
伊藤委員長	そのほかご質問ございませんでしょうか。
長野委員	不登校のところで、7月に入って新しく30日以上不登校になった児童生徒のお話を聞かせていただいたのですが、家庭内の兄弟関係とかはどうでしょうか。兄弟はいるのでしょうか。兄弟共に不登校でしょうか。また、無気力の子というのは特に変わったことはないのでしょうか。
阿部教育長	全不登校生67名のうち52名が昨年度も不登校の経験があり、兄弟に不登校生がいる生徒は11名、卒業した兄や姉が不登校生にしているのは7名です。
伊藤委員長	そのほか、ご質問はございませんでしょうか。 それでは、その他に移らせていただきます。平成25年度新居浜市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について、事務局から説明をお願いいたします。
木村総括次長	平成25年度新居浜市教育委員会点検・評価についてご説明いたします。点検・評価につきましては、平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴いまして、平成20年度から、全ての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する評価書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられたもので、今回で6回目となるものでございます。 お手元にお配りしております資料の1ページをご覧ください。1点目、基本的な構成につきましては、昨年度に見直しを行いまして、今年度につきましても基本的には前年度と同様の構成を考えております。2点目、点検・評価の対象ですが、平成24年度に各課及び教育機関で実施した施策・事業で、そのうち新たに取組んだ事業、前年度から取組を改善した事業等を中心に10事業を選定し、この10事業について、教育に関し学識経験を有する方からご意見をいただくようにしております。なお、今年度選定した10事業につきましては3ページに、その評価票の様式は4ページに記載し

	<p>ております。次に、学識経験者の意見及び評価結果を踏まえた今後の取組の方向性を5ページに記載の様式を基本に取りまとめます。</p> <p>3点目、点検・評価の方法につきましては、自己評価は、施策・事業ごとに成果指標の達成度をA～Eの5段階で行います。また、選定した10事業について学識経験者の御意見等を頂くのですが、その3名につきましては、今年度から新たに伊藤公一さんをお願いすることとしております。また、選定した10事業以外も6ページに記載のとおり自己評価等を行う予定にしております。4点目、今後の作業スケジュールにつきましては、9月の上旬まで点検・評価作業を行い、9月中旬から10月上旬にかけて、学識経験者の意見・助言を頂き、報告書を作成し、11月の教育委員会定例会において承認をいただき、その後12月の定例市議会へ報告をいたしたいと考えております。なお、その後、市民の皆様方にホームページ等で公表してまいります。以上で説明を終わります。</p>
伊藤委員長	<p>ただ今の点検・評価につきまして、ご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、平成25年度教育委員会取組方針について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
藤田事務局長	<p>一番大きいA3の資料をご覧ください。各課の担当から進捗状況を聞き取りした内容を記載いたしております。ご覧いただいたように項目が大変多く、全てを説明することは時間的に余裕ございませんので、今日お配りして、次の教育委員会の時に、ご質問いただいたところについて説明をさせていただけたらと思います。大変申し訳ありませんが、質問の内容について8月21日を目途に事務局の方にご連絡いただけたらと思います。その項目について、次の教育委員会で詳しく説明させていただけたらと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上です。</p>
伊藤委員長	<p>取組方針につきまして、何か質問はございませんでしょうか。それでは、21日を目途に、よろしくお祈りします。</p> <p>その他、何か連絡事項等はございませんか。</p>
阿部教育長	<p>お手元に平成25年度にはま子ども環境サミットの資料をお配りしていると思います。会議をした後のアンケートですが、参加</p>

	<p>児童は47名、「よい」、「ふつう」、「よくない」の3段階で、「よい」がだいたい90%、「ふつう」が10%前後という結果です。また、各校の意見としていろいろ挙げております。裏には、「環境ヒーロー美化訴え」という形で、愛媛新聞が会議の様子を取り上げていただいております。このことから、スクールエコ運動への取組が次第に増えてきており、今後の活動をどのようにしていくか、また検討を要するのではないかと考えております。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。ただ今の報告につきまして、ご質問はございませんか。その他、何か連絡事項はございませんか。</p>
阿部教育長	<p>お手元に小・中学生子ども会議の結果報告についてお配りしていると思います。『楽しい学校とは～いじめがなく子ども同士の絆が深まる学校を目指して～』というテーマで行われました。また、小中9か年を見据えてということで、第2部として、各中学校区で話し合いをしてもらいました。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p> <p>最後のページを見ていただけたらと思います。今回の子ども会議についての子どもたちの評価です。小学生47名、中学生26名、全部で73名いたのですが、会の目的は理解できたかという問いには「よい」、「ふつう」に全員入っています。中学生は、この会に参加してよかったという生徒が100%、また、会の目的が理解できた、内容はよかったという生徒が96.2%いて、楽しい学校ということについて、やはり学年が進んだ中学生の方が小学生より意識していたのではないかとと思います。新居浜の子どもたちに、いじめゼロ宣言ができるように取り組んでいってほしいなと思います。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。ただ今のご報告につきまして、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>私から1点ご質問ですが、環境サミットと子ども会議の報告はホームページにも掲載されますか。</p>
阿部教育長	<p>掲載されます。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。他に、報告等はございませんか。</p>

阿部教育長	<p>教育長報告でも説明いたしましたが、外国語指導助手（ALT）3名についてお手元に資料があると思います。ディビッド マイケル・ラバさんとマイケル ジェフリー シェスラーさんが新しくオーストラリアとアメリカから来ました。今までは、大学卒業して直後に来られて日本語はあまり上手でない方が多かったですが、2人とも日本語を大学で学んでからきておりますので、日本語をほぼ理解しています。それで、中学校にはこれまで小学校に行っていたザッカーリーさんとディビッドさん、そして小学校にはシェスラーさんをお願いしたいと思っております。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。ただ今の報告について、ご質問ございませんでしょうか。その他ご報告ございますでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>お手元に通学路合同点検の資料があると思います。危険箇所は最終的に56箇所、2ページ目以降にその具体的な点検状況について記載しています。学校教育課を中心に今後取り組んでいきたいと思っております。</p>
伊藤委員長	<p>ただ今の通学路合同点検につきまして、ご質問はございませんでしょうか。続きまして、その他の報告はございますでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>今年度、愛媛大学医学部と共同して運動器検診を行いました。中学2年生を対象にしたその実施結果の集計表をお配りしています。全市内で生徒数が1,160名、問診調査を行ったのが978名、その中から直接検診対象者が394名の40.3%、うち当日の受診者は380名、そのうち病院の受診を勧められた者が71名の7.3%という状況になっております。</p>
伊藤委員長	<p>ただ今の運動器検診につきまして、何か質問はございませんでしょうか。</p>
長野委員	<p>運動器とは具体的にどういうことを調べたのでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>関節や背骨の痛み、またはO脚等、体の骨に関する事を調べました。学校の内科検診と同時に、スポーツ整形外科の先生が参加して行いました。</p>

伊藤委員長	他に連絡事項等はございませんでしょうか。
阿部教育長	7月の定例教育委員会で報告しておりました別子小学校の保護者から要望があった件につきまして、保護者への聞き取りを行いましたので、報告させていただきます。
藤田事務局長	7月22日、別子山公民館の図書室で、私と横井次長、加藤課長の3名で保護者等から聞き取りを行いました。5組の方からお伺いしております。お手元の別子小学校に関する保護者等からの聞き取り一覧をご覧ください。 <資料に基づき説明>
伊藤委員	ありがとうございます。ただ今の別子小学校の件につきまして、ご質問・ご意見等はございませんでしょうか。 この方たち以外に、今後お子さんが小学校に入学する可能性のあるご家族というのは別子山にはいらっしゃらないのですか。
藤田事務局長	いらっしゃらないということで考えております。
宮内委員	平成26年度には別子小学校に1人ですか。
藤田事務局長	あくまでも予定ですけど、現在1年生と、来年度入学される児童の2名です。実際その場面にきた時にどうされるか、別子小学校に入学されるのか、やっぱり他のところに入学するのか、今の時点ではわかりませんが、予定は2名です。
宮内委員	その後には、この状態が2年ぐらい続いて、その後3人になりますよね。
藤田事務局長	そうですね。
宮内委員	最初に要望していた〇〇さんご夫妻が、これから先別子小学校ではリーダーシップをとっていかれるかと思いますが、〇〇さんご夫妻がとにかく休校か統合かと主張される限りずっと続くと思います。何年待っても、子どもは2人、3人ですよね。

藤田事務局長	<p>別子山に転居するとか可能性はゼロではありませんが、実際この5組のうち、もともと別子山出身の方は〇〇さんと〇〇さんの奥さんです。他の方は違うのですが、何らかの縁があって別子山の方に来られておりますので、ゼロではないですが、可能性は非常に低いと思われま</p>
宮内委員	<p>転居された方々っていうのは、思いが少ないのですかね。</p>
藤田事務局長	<p>もともと〇〇さん自身も別子山の方なのですが、子どものことになると児童が少ないのは悲しい、大きな学校で遊ばせたいという気持ちが強いです。〇〇さん自身も児童数が少ない中で育っていますので、自分の小学校に通った感覚、人数を基準にして考えているのではないかと思います。ある程度の子どもはほしいということです。</p>
長野委員	<p>〇〇さんのところに「地域の意見が二分していることも認識はしている」と書いておられるのですが、地域の方たちは学校に対しては存続という意向が強いと受け止めてよろしいのでしょうか。</p>
藤田事務局長	<p>現時点ではお伺いはしていません。ただ、合併の時に、当時の別子山村長さんから新居浜に対して、合併にあたっての心配な点を5項目挙げていただいております。そのうちの1つに、別子小中学校の存続というのが要望として挙がってきております。この要望は、新居浜市としては今も活着していると思っております。それを変えるのであれば、やはり地域の方々の意見が必要かと思</p>
伊藤委員長	<p>私から少しお聞きしたいのですが、例えば小学校を角野小学校とするとした時、中学校だけ存続ということはあり得るのでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>あくまでも校区制が制度としてありますので、別子山校区という考えをします。休校するという選択をした場合は、小中両方を休校するしか方法はないと思っております。</p>
伊藤委員長	<p>小中一体の判断をされるということですね。</p>

阿部教育長	はい。
伊藤委員長	先月にもご質問させていただいたのですが、地域の方のご意見の取りまとめの方法としては、連合自治会の総会であるとか、公民館運営審議会の団体などいろいろあると思いますが、最も住民の意見が反映されるような集約方法はこういったもののでしょうか。
藤田事務局長	まず、連合自治会長さんをお願いするのが一番で、やり方というのは自治会長さんにお任せするしかないと思います。今の時点では。「こういう要望があるのですが、別子山地域としてのお考えをお伺いしたい。合併前には存続の要望がありましたけれども、今の時点の要望はいかがでしょうか。」という形で、意見を取りまとめたことだと思っています。
阿部教育長	<p>補足しますと、合併をする前に合併を前提として村長さんから市長に要望書が出され、そして合併についての協議会が10年前に発足し、10年間いろいろなことが合併協議会で審議されてきました。そして10年経ったということで、その協議会がなくなりました。現在、村民の気持ちを量ることができるのは、連合自治会、またその総会によるものではないかと思っています。今回の件について教育委員会で審議してほしいと要望があった時に、〇〇さんに「もし、地域で審議する場合はどこへもっていったらいいでしょうか」と言われたら、合併協議会はないので連合自治会を通して審議してもらえないかという話ができます。</p> <p>やはり、子どもの意見、保護者の意見を見ないのはいけないと思います。ただ、我々としては教育的配慮も必要ではないかと考えております。学校というのは、2人以上いて競争する、また連携する、つながりあう、そういう社会生活、学校生活の中で学んでいくものがあると思います。一人で学校生活というのはあり得ないのではないかと、特に思春期を迎える子どもで、多様な見方、判断の仕方が今後必要になってくる時に3年間1人で中学校生活をするのか、本当に教育と言えるのかということも含めて、教育委員会の判断を求められるのではないかと考えています。しかし、当事者の意見を聞き、また、教育というのは地域に支えられているという一面もありますから地域の声も聞く、そういう中で総合的に判断することが必要だ</p>

	<p>と思っております。</p>
伊藤委員長	<p>その他ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>ただ今の教育長さんのご意見に基づくと、次にご意見をお伺いしないといけないのは、地域の方々ですね。</p>
藤田事務局長	<p>お子さんの意見を聞き、また、地域の方々にもお伺いしないといけないと思います。</p>
伊藤委員長	<p>来年度の準備にあたって、いつまでに結論を出すのでしょうか。</p>
藤田事務局長	<p>10月1日に、入学時健康診断の通知を出します。また、指定学校の変更申請受付が10月1日～31日となっています。</p>
伊藤委員長	<p>お子さんのご意見をお伺いたうえで、地域の方にお話をもって行っていただきまして、ご意見をいただくという方向でいかがでしょうか。</p>
宮内委員	<p>1つよろしいですか。教育委員会で別子小学校、中学校をどうするかということを決める時、小・中学校が存続した時の別子山地区の在り様と、小・中学校が休校や廃校になった時の別子山地区の在り様では、別子山地区そのもののこれから先の社会基盤が変わってくると思いますが、教育委員会で教育的配慮も必要ですが、社会的配慮を必要とした時、本当に教育委員会が判断しているのか、市議会の判断が必要なのではないかと思います。例えば、「教育委員会は休校または廃校などこういうふう提案します」として、今度は市議会の判断が必要かと思いますが、小・中学校の在り様は教育委員会で決めて構わないのでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>学校の設置は条例で定められており、市議会で審議しなければなりません。</p>
伊藤委員長	<p>教育委員会の採決に基づいて、議会に議案として挙げさせていただくということですね。</p>
藤田事務局長	<p>最終的には新居浜市としての判断をした後、条例事項でございま</p>



伊藤委員長	<p>すので議会に上程をして、採決をいただくということです。</p> <p>手続きをすればそれが最終ということですか。</p>
藤田事務局長	<p>極端な話ですけども、廃校にする案で上程して、議会で否決されれば廃校はなしということです。</p>
宮内委員	<p>廃校がないということは、子どもがいないということもあるのですか。</p>
藤田事務局長	<p>可能性としては起こり得ます。その場合は、休校となります。</p>
阿部教育長	<p>どちらにしても、「中学校は存続してほしい」、「小学校は潰してほしい」という状況になった時、やはり教育委員会としては、どちらをどうするか、両方の要望とも受けるというのは考えられません。普通は体力上考えたら、低学年の小学生がバスに揺られて普通で40分、冬場に三島経由だと1時間以上も通学にかかるのは、ちょっと考えられないと思います。小学校が別子にあって、中学になったら下に降りてくるというのは考えられますけれど、それが逆転するような状態というのは、なかなか了解出せないのではないかと考えます。学校というのは、身体的状況や利便性等も含めて、通学区域というのを決めなければならないのではないかと思います。</p>
伊藤委員長	<p>もう1つ質問いいですか。今の地域バスなのですが、過去に三島経由で走ったことがありますか。</p>
阿部教育長	<p>大永山が凍った時には、何回かあったのではないかと思います。大半は、スタッドレスタイヤで行きますが、どうしても雪が積もった場合は、何回か三島経由で行ったことがあったと思います。</p>
長野委員	<p>繰り返したいですが、保護者の意見はここに示されているのですが、やっぱり私は学校ということ考えた時に、10年前の合併の時にもあったのですが、10年間で状況が変わってきて、地域の方もどんなふうに思われるのか、やはり存続を希望されるのか、保護者の方たちの意見を尊重するのか、地域の方の声をお聞きしたいです。そして、実際に通学するとなると毎日のことですので、保護</p>

伊藤委員長	<p>者はどのくらい理解して行動するかと考えると、なかなか難しいのではないかと思うのですけれども、とりあえずは、地域の方の意見を聞くのが先かなと思います。</p> <p>その他ご意見等ございませんか。</p> <p>それでは、子どもさんのご意見を8月末に聞いていただきまして、そのあと地域の方々、連合自治会の方々にお話をもって行っていただきまして、ご意見をお伺いをするということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>その他、ご報告ございませんでしょうか。</p>
伊藤学校給食課長	<p>学校給食課です。学校給食費未納状況を報告させていただきます。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
伊藤委員長	<p>ただ今のご報告につきまして、ご質問ございませんでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>話は変わりますが、アレルギーの対応について、文部科学省からも新たに調査するということが出ていますが、こういった対応をしているのか説明してください。</p>
伊藤学校給食課長	<p>アレルギーと申しましても、いろいろと個人によって違います。小学校の場合は、多いところで10数名いらっしゃいますが、各学校に栄養士がついておりますので、調味料の中にもゴマ類が入っていたり、卵類が入っていたりしますので、それも全て除去しております。ただ、中学校の学校給食センターの場合、1週間単位でメニューはあるんですけど、複合アレルギーの方が出てくると、その方に対するアレルギー食というのは、1週間に5食ある中で3食は同じ食事になる可能性が出てきます。そういう対応をしなければならぬ場合が出てきたりします。1番困るのは、エビ、カニの甲殻類の関係で、アレルギーはないのだけれども、午後に運動するとアレルギー反応を示すという子がいらっしゃいまして、その方の対応が1番難しい状況です。アレルギーの方につきましては、毎年3月に栄養士と本人、保護者に面談いたしまして、その給食で対応できるかどうかを確認させていただいております。できない場合は、保護者の方にお弁当を作ってくださいという形をとらせていただい</p>

	<p>おります。</p> <p>文部科学省からも調査等ありますが、現在新居浜で144名のアレルギーの方がいます。学校給食センターで31名、新居浜特別支援学校で4名いますので、学校給食センターでは35名分は別便でお弁当を届けております。これ以上アレルギーの方が学校給食センターに増えると、特調室が狭くて、作れないような状況になりそうです。だいたい10食までしか対応できないような特調室ですが、1番多い時で日に12名のアレルギー食を作らなければならないので、また改造しなければならないかもしれない状況です。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、何か質問はございませんでしょうか。</p> <p>アレルギーの方の数は、年々増えていく傾向なのでしょうか。</p>
伊藤学校給食課長	<p>増えています。</p>
長野委員	<p>給食センターの対応とか栄養士の対応は充分やっていますが、学校の体制として、全教職員がどのくらい共通理解して対応できるかというそういう取り組みは進めているのでしょうか。</p>
伊藤学校給食課長	<p>各栄養士の方には、学校の意識統一を求めようにはさせていただいておりますが、学級担任が1番身近にいるのでその方たちも含めて、こういうアレルギーをもっているということを確認し合いながらやっていただいております。</p>
長野委員	<p>1番心配するのは、1番よく知っているはずの担任や栄養士さんとかがないケースです。出張とかでいない場合もあるのですが、例えば他の子どもが怪我をしたからその対応に追われて隣の先生に任せるとか、何か電話がかかってきていかなければならない等、その場を離れるということが日常的に随分あります。東京で事故があった時も、あまり詳しく知らない先生だったと聞いたのですが、担任の先生はもちろん知っておかなければならないですし、学校全体がどの子どもがどういうアレルギーをもっているかということを知ってほしいです。</p>
伊藤学校給食課長	<p>こちらのほうから、また学校内で意識統一するように通知させて</p>

伊藤委員長	<p>いただきます。</p> <p>ありがとうございました。その他ご報告ございませんでしょうか。</p>
横井スポーツ文化課長	<p>郷土美術館からお知らせです。お手元にお配りしております特別企画展「野分のあと 白岡順写真展」についてご説明させていただきます。白岡順さんは新居浜市角野出身で、写真を見てもわかるように非常に独自の視点で撮られる方です。特に、フランスを中心とする国際的な評価が高い方です。このたび9月6日から9月29日の日程で写真展を開催いたします。なお、9月6日にご本人によるテープカットと開展式を行います。それと、関連事業ですが、6日の12時からだいたい40分程度で白岡順さんご本人によりますアーティストトークを行い、作品解説をしていただきます。また、9月7日(土)には、小学生の4年生から6年生を対象にいたしまして、白岡順さんに先生になっていただきまして、ピンホールカメラと現像体験をしていただくというワークショップを開きたいと考えております。夏休み前に各学校にチラシは配布済みで、約10名の募集に対しまして、今現在で9名既に受付済みということで、対応ができれば少々超えても対応しようと思っております。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。他に連絡等ございませんか。</p>
坂本次長	<p>図書館です。チラシを配付していると思いますが、「パパ's 絵本プロジェクト マジカル全国ツアー」が8月31日(土)に別子銅山記念図書館で行われます。ファザーリング・ジャパンの安藤哲也氏他3名の父親による読み聞かせを行います。午後の小学生以上の部に少し余裕がございますので、お知り合いの方がいらっしゃったら声かけの方お願いいたします。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。その他ご報告ございませんか。</p>
阿部教育長	<p>7月中に愛媛新聞等で子どもたちが掲載された記事をお配りしています。たくさんの活躍があったと思います。またお目通しください。</p> <p>次に、肢体不自由特別支援学校の設置について報告いたします。</p>

<p>伊藤委員長</p>	<p>新聞等で報道もあったと思いますが、県教育委員会特別支援課から、新居浜西高等学校の現在未使用の旧家政科教棟に、東予地域、新居浜、西条、四国中央市の肢体不自由児の子どもたちのための、新居浜特別支援学校を設置することが予定されているという連絡がありました。現在はしげのぶ特別支援学校しかなかったので、バスや保護者が送迎して通学しておりました。平成27年4月開校を目指して、東予地域の約50名が就学できる予定です。なお、県の9月議会で建築予算が諮られ、26年度中に建築を開始し、27年4月に開校予定です。西高、北中、宮西小が近くにあり、特別支援学校と小中との連携が図れると思います。西高の平面図をご覧ください。正門から西高の普通科生が通学して本館へ入り、特別支援学校の子どもは西門から通学するという形で建て替えを計画しています。また、特別支援学校のエレベーター設置等の大規模改修に合わせて、本館等も改修する予定です。現在、しげのぶに通学したいけれど、通学困難で新居浜にいたいという子ども4名が浮島小学校に通学しております。そういう子どもたちに朗報ではないかと思っています。</p> <p>ありがとうございました。ただ今の報告にご質問ございませんか。</p> <p>他に連絡事項等ございませんか。</p> <p>それでは、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思えます。9月の定例会は、9月13日金曜日の15時から開催させていただきます。</p> <p>それでは、平成25年第8回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>&lt;以下、選挙第1号、指定第1号について、非公開にて審議&gt;</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
--------------	---